

式 辞

春の清々しいさわやかな風が心地よく感じられる今日のこの佳き日に、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席をいただき、令和七年度北海道室蘭清水丘高等学校入学式を挙行できますことは、本校教職員一同、大きな喜びとするところであります。

また、保護者の皆様には、お子様が本日晴れて本校の生徒として、新たなスタートを切られましたことに、心よりお祝いを申し上げます。

さて、本日、入学を許可された145名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんは、九年間の義務教育を修了し、自らの意志で本校を選び、晴れて本校に入学をしました。

本校は、大正七年に地域の期待、北海道の期待を受けて開校し、一〇〇有余年の歴史と伝統を誇り、卒業生は三万人を超え、市内はもとより、全道・全国で活躍しています。

本校は、長い歴史の中で幾多の変遷を経て、現在では普通科単位制を導入し、多くの選択科目の中から、自分の興味・関心や進路希望等にあった科目を選択して学ぶことができるように進化を遂げてきました。また、かつてあった英語科の伝統を引き継ぎ、姉妹校であるアメリカのアラスカ州やワシントン州

の学校との交流事業を実施したり、部活動やボランティア、職業人による講話など、様々なことに参加する機会が設けられています。

これから三年間、学校の勉強はもとより、多様な活動に積極的にチャレンジして視野を広め、1/1ではなく1/100の選択肢から自分の夢を見つけ、進路目標に向かって、ここ室蘭清水丘高校で強い意志を持って努力し、楽しんでください。ここにはその選択肢があります。

本日から高等学校の生活が始まりますが、本校のスクールポリシーの一つに、三年間の学校生活で育成を目指す資質・能力が示されています。それは「答えのない時代を生きるための考える力」「納得する答えを導き出す情報編集力」「自ら課題を発見し、仮説を立てる力」。この三つの力を育てるべく、皆さんの将来を見据えて、本校教職員は卒業までの三年間、緻密な計画を立てて教育活動を展開します。それらの教育活動に皆さんがどのような意識で取り組むかによって、その成果は大きく異なってきます。与えられた学習をただ行うのではなく、主体的に、自ら進んで学ぶ気持ちらを大切にしていっていただきたいと考えます。

今後ますます社会の産業構造やデジタル技術がめまぐるしく変化していく中、皆さんは与えられた答えだけでなく、自ら答えを探していく時代を生きることになります。高校生活一日一日を大切にし、その小さな積み重ねが、三年後には大きな成果となり、「室蘭清水丘高校に入学して良かった」と誇りと自信を抱き、「想像以上の自分」になって巣立っていくことを期待しています。

保護者の皆様、本日から三年間、皆様の大切なお子様をお預かりすることになります。お子様の健やかな成長や夢の実現に向けては、学校だけではできないこと、家庭だけではできないことがそれぞれにあります。保護者の皆様と「共に育てる」思いを共有し、十分に連携を回り、教職員一同、一丸となって教育活動の充実に努めて参る所存であります。ご来賓の方々、また、保護者の皆様の本校教育活動への変わらぬご理解とご支援をお願い申しあげ次第であります。

結びになりますが、本日、入学された新入生の皆さんの大いなる健闘を心から期待するとともに、ご臨席賜りました、ご来賓の方々、保護者の皆様のますますのご健勝をご祈念申しあげ式辞といたします。

令和七年四月八日

北海道室蘭清水丘高等学校長 今井 真